

次世代 HERO

Next Generation's Hero

かわむらまほ
河村真帆さん

第90回全国盲学校弁論大会
全国大会3位(令和4年10月7日実施)

皆さん、伝えきれていない言葉は
ありませんか？



◀河村さんの弁論が聞ける！
演題「ことばの力」
下関市広報戦略課YouTube
チャンネルへ

弁論発表

「ことばの力」



高等部本科普通科二年 河村真帆



▲より相手に伝わるように、間の
開け方や強弱を工夫しました。

全 国盲学校弁論大会全国大会で
3位に輝いた、下関南総合支
援学校高等部普通科3年生の
河村真帆さんをご紹介します。

教室のドアを開けると「こんにちは」と、明るい声と笑顔で出迎えてくれる河村さん。生まれつき目が不自由で、中学校の頃から寮で暮らしています。家族と過ごせるのは、月に2日ほど。思春期で会話が減ったなと感じていたそんな時、父親を病気で亡くします。

「当たり前にあるはずの日常は奇跡」命を懸けて気付かせてくれた父親への感謝の気持ちを言葉に込め、河村さんは全国の舞台で想いを届けました。

「ありがとう、それは口にした本人だけでなく、相手を幸せにする言葉。声に出さないと、伝わらない。そして伝えたい時にいつでも相手がいるとは限らない。私は、無限大の力を持つこの言葉を、たとえ相手との関係が悪い時でも必ず伝えていこうと思います」

本州の四端で 連携して 地域を活性化



市長コラム
希望の風
市長の部屋



串本町で行われた本州四端首長交流会議

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。突然ですが皆さん、下関市は本州の西の端にありますよね。では、北の端は？ そう、青森県大間町です。そして東の端は岩手県宮古市であり、南の端は和歌山県串本町です。全部知っていた人、さすがです！ この4つの自治体が、お互いの地域を活性化するため、今から約20年前に連携を始めました。それが「本州四端協議会」という組織です。

このたび3年ぶりに首長4人が串本町で再会。お互いのまちの課題を伝え合い、どうすればこの組織を使って地元を元気にできるのかを話し合いました。「4つの地域を巡るクルーズ企画はどうだろうか」「インスタスポットを設けて全国横断コンテストをやってみては」「お互いの地域の祭りで四端の紹介ブースを作っては」など多くの意見が飛び交いました。

四端すべてを踏破した方には証明書が交付されていますが、初年は5枚だった枚数も、令和4年にはなんと47枚に増えました。踏破ラリーを知って、わざわざ四端を巡ってくれた方がこんなにいることに驚きましたし、とてもうれしいことです。

本州最西端の地は下関の「毘沙ノ鼻」です。地元の皆さんがしっかり整備を行い、恐竜を絡めてPRをすごく頑張ってくださいっています。皆さんもぜひこれから四端を巡ってみてください。